

市民の声等の公表事項

令和 8 年 6 月 1 日作成

【件名】 山陽小野田市への施策提言書
【受付 令和 8 年 5 月 8 日】 【担当課 取りまとめ生活安全課】
【分類】 (1) くらし・手続き (2) 子育て・健康・福祉 (3) 教育・文化・スポーツ (4) 企業・産業・観光 (5) 安全・安心 (6) その他
【市民の声】 1 学校周辺および通学路への防犯カメラ設置の推進と見守り体制の強化 (背景と現状) 子供の減少により少数での登下校が多くなっています。また、保護者や地域ボランティアの高齢化により、従来の「人の目」による見守り活動が限界を迎えています。安心して登下校できる環境整備を要望いたします。 (現場の意見を反映した具体的提案) ●「協賛型防犯カメラ」の導入：行政予算のみに頼らず、地元企業の協賛を募り、設置・維持費用を分担する仕組みを提案します。

- ハード・ソフト両面での安全確保：物理的なカメラ設置だけでなく全学校統一の安心メールの導入により、学校から地域へのスムーズな情報共有システムの再構築を求めます。
- 地域ボランティアへの活動支援：ボランティアの負担軽減のため、見守り活動に必要な備品（ベスト、帽子、ライト等）の支給、また、わんわんサポーター（犬の散歩を登下校に合わせる）の募集、シルバー人材の活用など、市としてのバックアップを強化を期待します。

（期待される効果）

市の財産負担を抑えつつ早期設置が可能となり、「地域全体で子どもを守る」という防犯意識の向上と犯罪抑止につながります。

2 部活動の地域移行に伴う「移動の格差」および「教育環境」の是正

（背景と現状）

部活動の地域移行が進む中で、活動拠点の遠方化による保護者の送迎負担増が深刻です。また、学校ごとにＩＣＴ環境や設備、部活動の選択肢に差があることが、子どもたちの「機会の格差」を生んでいます。

（現場の意見を反映した具体的提案）

- 移動支援サービスの拡充：宇部市や防府市の事例を参考に、コミュニティバスの活用、児童生徒の運賃補助、専用シャトルバスの運行など、家庭環境に左右されない移動手段を求めます。
- 環境の整備：運動場への照明の配置、夜間への活動に移すことで指導員の確保がしやすくなり、部活動による格差是正を減らせる。

（期待される効果）

どの地域、どの家庭の子どもであっても、安全かつ平等にスポーツや文化活動、学習機会を享受できる「住み続けたい街」の実現に寄与します。

まとめ：教育現場の変化は激しく、保護者だけの努力では解決できない課題が山積しています。市、学校、そしてPTAが真に手を取り合い、子どもたちが笑顔で過ごせる山陽小野田市を共創していくための前向きな回答を期待いたします。

【回答】

1 学校周辺および通学路への防犯カメラ設置の推進と見守り体制の強化

●「協賛型防犯カメラ」の導入

(生活安全課)

このたびは、学校周辺及び通学路における防犯カメラ設置の推進並びに見守り体制の強化につきまして、貴重なご要望をお寄せいただき、誠にありがとうございます。

防犯カメラの設置は、犯罪抑止効果や、市民の安全・安心につながる有効な方策の一つであると受け止めております。

本市におきましては、自治会等が防犯カメラを設置した場合にその経費を補助する「防犯カメラ設置補助」制度があります。補助対象者は、自治会だけでなく、これに類する団体で一定の地域を基盤とし、地域に根差した活動をしている団体としており、本市の制度においては、子ども会やPTAのような団体もその対象者としております。費用につきましては、防犯カメラ設置にかかる経費の7割（上限10万円）を補助しています。また、令和8年度は山口県警察におきましても、同様な防犯カメラ設置補助制度があり、昨年度の県警の補助金制度を活用して防犯カメラを設置している自治会もあります。一方で、防犯カメラの設置にあたりましては、設置場所所有者の許可や地域の同意、プライバシー保護の観点から撮影範囲となる対象区域の住民等の許可を得る等の課題があります。現時点では本市の防犯カメラ設置補助制度を継続しつつ、協賛を含め、どのような仕組みで防犯対策を市全体で進めていくのがよいのか、山陽小野田警察署や山陽小野田防犯対策協議会等と協議しながら調査・研究を進めてまいります。

●ハード・ソフト面での安全確保

(学校教育課)

現在、児童生徒の安全確保や緊急時の連絡体制として、市内各小・中学校においては、主に保護者に向けた各校独自のメールや学校ホームページを活用した情報発信を行っています。一方、市としては、防災情報を広く市民へ周知するため、「山陽小野田市防災メール」や公式SNS等を活用した迅速な情報配信に努めています。

各学校からの情報発信につきましては、情報伝達に時間がかかり、迅速性に欠け、学校毎に差異が生じることもあります。また、市が配信する情報との一元化も課題と認識しております。

学校から地域への迅速な情報共有が防犯および見守り活動の効果を高める重要な要素であると認識しております。今後は、情報配信について市の関係部署と連携し、市防災メール、公式SNS等の活用を検討してまいります。

●地域ボランティアへの活動支援

(社会教育課)

子どもたちの登下校の見守り活動は、各小学校における地域学校協働活動の「見守り・安全」活動として行われています。昨年度は、のべ2,782日実施し、41,911人の方にご協力をいただいております。小学校では、ほぼ毎登下校時に見守り活動をされています。

見守り活動にご協力いただいている方は、地域学校協働活動にボランティアとして登録していただいている方々で、その数は減少傾向にありますので、このような活動があることを周知し、ご協力いただける方を増やしてまいりたいと考えています。

なお、地域学校協働活動は活動に伴う消耗品等を支給することができません。

2 部活動の地域移行に伴う「移動の格差」および「教育環境」の是正

●移動支援サービスの拡充

(文化スポーツ推進課)

認定地域クラブ活動の活動場所として、学校施設のほか、市内の体育施設や文化施設を想定しており、活動場所までの移動については、保護者等による送迎や公共交通機関の利用をお願いしているところです。また、活動場所や時間帯、競技・種目が多様であるため、送迎体制を整えるのは容易ではなく、整備を行うには多額の費用を要するため、現状厳しいものと考えます。

しかしながら、他市の取組は参考になるものと考えられますので、今後、認定地域クラブ活動の実施状況等を把握しながら、本市の実情に合った移動支援のあり方について研究してまいります。

●環境の整備

(文化スポーツ推進課)

平日に活動する認定地域クラブ活動は、従前の部活動より遅い時間帯の活動となることが見込まれています。そのため、特に秋冬期を中心に、夜間の活動に必要な照明環境の確保は重要であると考えています。

照明設備の新設や改修には、整備費用だけでなく、電気料金や維持管理費も継続的に必要となり、多額の費用を要するため、現状厳しいものと考えます。

今後においては、施設の利用状況を見極めながら、照明環境の改善を検討してまいります。

(教育総務課)

部活動の地域展開に伴い、子どもたちの活動時間帯や活動場所が多様化している現状において、市としましても、安全かつ適切な活動場所を確保することは重要な課題であると認識しております。

学校施設への夜間照明設備の設置につきましては、部活動地域展開の推進の有効な方策となることや地域のスポーツ振興にも資することは承知しております。

一方で、こうした設備を設置するためには、近接住宅地への光の漏れや、車や活動に伴う騒音が生活に支障を来すことが懸念されることがから、まずは近隣住民の理解を得る必要があります。さらに、照明機器の設置には多額の費用を要すること、あわせて維持管理・運用に毎年一定の費用が必要となることなど財政上の課題も生じます。

教育委員会としましては、こうした解決すべき課題が多くあることや学校施設に関しては老朽化対策等優先すべき課題があることから、現時点では、運動場に夜間照明設備を設置する計画はありません。